



# JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

## 日本経営システム学会 第 67 回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥ことお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第 67 回全国研究発表大会が 2021 年 11 月 27 日（土）、28 日（日）に ZOOM によるオンライン会議形式にて開催されます。多くの会員の皆さまのご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

### 記

開催日：2021 年 11 月 27 日（土）、28 日（日）

主催校：横浜市立大学 八景キャンパス（ZOOM によるオンライン会議形式）  
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2

連絡先：実行委員長 横浜市立大学 永松 陽明 E-mail: [a\\_nagama@yokohama-cu.ac.jp](mailto:a_nagama@yokohama-cu.ac.jp)

主催：日本経営システム学会

統一論題：「地域共創と経営システム」

基調講演：現在調整中

参加費：大会参加費は口頭発表者のみ徴収します（会員 5,000 円、学生会員 3,000 円）。予稿集は口頭発表者には無償配布、その他希望者には有償（3,000 円）で郵送します。

発表申込：発表申し込みは、学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> の発表申込フォームから申し込みいただくか、ダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、メール添付で学会事務局 E-Mail:[keieisys@jams-web.jp](mailto:keieisys@jams-web.jp) へ、10 月 1 日（金）（予定）までに送信してください。本 JAMS NEWS の発表申込書を学会事務局宛 Fax.03-3371-5185 にご送付いただいても構いません。

原稿締切：pdf および word 入稿または郵送にて、10 月 27 日（水）（予定）まで（厳守）、学会事務局宛または第 67 回大会発表原稿入稿フォームからご投稿ください。

### ■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい。

- ・学生セッションの発表は、正会員との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とします。

詳しくは、表彰細則（<http://www.jams-web.jp/download/jams-hyoushousaisoku.pdf>）を参照ください。

### ■研究発表に関する細則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「研究発表細則」（学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/download/jams-kenkyuuhappyou.pdf>）に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この細則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

---

## 第 20 期会長退任に当たって

---

日本経営システム学会 第 20 期会長 明治大学 山下 洋史

日本経営システム学会第 20 期会長の満期を迎え退任するに当たり、当学会会員の皆様にご挨拶させていただきたいと思っております。私は、2 年前の 2019 年に第 19 期会長の塩出先生を引き継いで、第 20 期会長に就任いたしました。

会長に就任した 2019 年度は、当学会の活動が活性化されており、神戸学院大学で開催された第 63 回全国研究発表大会では、100 本以上の研究発表がありました。こうした右肩上がりの学会活動（学会発表）を 2020 年度も継続したいと考えていた矢先に、新型コロナウイルスの感染が広がり、日本大学生産工学部で開催する予定であった第 64 回全国研究発表大会の口頭発表を中止にせざるを得ませんでした。そこで、講演論文集のみでの発表に切り換え、何とか会員の皆様が研究成果を公表する場を確保いたしました。また、総会と評議員会については秋の大会（第 65 回大会）に延期させていただきました。

当初、昨年の秋の大会までには新型コロナウイルスの感染も収束するであろうと考えておりましたが、秋になっても感染拡大が治まらず、第 65 回全国研究発表大会は主催校の立命館大学の全面的なご協力のもと、オンラインでの開催となりました。オンラインでの研究発表大会開催は初めての試みでしたが、大きな問題もなく、無事に開催することができました。これも立命館大学と関西支部を中心とした第 65 回大会実行委員会と、大会委員会・表彰委員会・総務委員会の周到な準備のおかげであり、深く感謝する次第であります。

さらに、今回の第 66 回大会も、オンラインでの開催となったため、当初予定していた北海道での開催でなく、共愛学園前橋国際大学にて急遽開催させていただくことになりました。短い準備期間でオンライン開催にご対応いただいた共愛学園前橋国際大学に厚く御礼申し上げます。

このように、私の会長任期の間は新型コロナウイルスへの対応で終始してしまいましたが、会員の皆様の研究発表の場を何とか確保し、最低限の対応はできたのではないかと考えております。新型コロナウイルスは、未だ猛威を振るっており、第 21 期会長の椎原先生もご苦労されるかと存じますが、学会の会員が一丸となって、この難題に立ち向かっていただきたいと思いますと考えております。

最後に、この 2 年間の学会活動を支えて下さいました会員の皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。第 20 期会長の退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

---

## 2020 年 論文奨励賞について

---

表彰委員長 川中 孝章

### 【論文奨励賞】

受賞者：中新田 涉里（明治大学）

対象業績：中新田涉里, 山下洋史, 萩原統宏, “連続尺度法の回帰パラメータによる評定傾向の分析”, 日本経営システム学会誌, Vol.37, No.2, pp.97-102 (2020)

受賞理由：企業や大学における人物の評価は、バイアスのない公平なものであるべきだが、一方では多様な価値観にも対応していることが求められるようになった。この一見矛盾するとも思われる課題に対し、当該論文は、連続尺度法を用いることにより評定者の評定傾向を分析することを可能にした。このことにより、従来の非連続尺度法と比較して、より詳細な傾向の分析を可能とし、更に寛大化傾向、厳格化傾向、および二極化傾向の3つの視点からその分析の妥当性についても検証した。複雑かつ定量化が困難ではあるが、今後、その手法の確立が必須であろう多様性を加味した人材の評価問題に挑戦した意欲的な研究として高く評価できるとともに、今後の研究の発展性も期待できる。また、人間が人間を評価する際に生じるバイアスの排除という実務的にも重要な課題に取り組み、従来の測定方法の問題点を克服した点や、課題に対するアプローチと展開は学術論文として大変分かりやすく、その領域の専門でなくてもこの論文のシンプルさ（美しさと呼んでも良い）を感じることでできる構成になっている点がすぐれている。さらに、豊富に蓄積された当該研究領域について、連続尺度法に焦点を当てた新たなモデル構築を試みたことが本研究の新規性として評価できる。

以上により、当該論文を日本経営システム学会「論文奨励賞」に相応しい研究論文であると判断する。

※2020 年は、学会賞は該当者なし。

---

## 第 65 回全国研究発表大会の報告

---

大会実行委員長 村山 賢哉

第 66 回全国研究発表大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初開催を予定していた北海道での対面開催から急遽変更し、第 65 回大会に続き Zoom によるオンライン開催となりました。開催日は 5 月 22 日（土）、23 日（日）の二日間で、Zoom の運営は共愛学園前橋国際大学で行いました。

統一論題は「情報倫理と経営システム」とし、40 件の研究発表（統一論題 1 件、一般研究部会 3 件、一般 23 件、学生研究部会 3 件、学生 10 件）がありました。研究発表は過去の大会に比べ小規模ではありましたが、各発表会場（Zoom ルーム）には多くの会員が参加され、Zoom 上での活発な議論が行われました。

急遽の会場変更で短い準備時間ではありましたが、前会長の山下先生（当時会長）、現会長の椎原先生をはじめ理事の先生方、実行委員の先生方、発表者・司会者の皆様、多くの会員の皆様の多大なご協力を賜り、トラブルなく開催することができ、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

---

### 学生研究発表優秀賞について

---

表彰委員長 川中 孝章

第 66 回全国研究発表大会（主催校：共愛学園前橋国際大学）終了後、表彰委員会において、厳正かつ慎重に受賞候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記 1 名が学生研究発表優秀賞に決定しましたので報告いたします。

1. 「職業選択の 4 分類フレームワーク」

中新田 渉里（明治大学）

---

### 2020 年度第 5 回理事会のまとめ

---

I. 開催日時：2021 年 4 月 23 日（金）～4 月 30 日（金）

II. 開催場所：メール審議

III. 出席者：

第 1 メール審議（2021 年 4 月 23 日より）出席者：35 名、欠席者：5 名

第 2 メール審議（追加審議、2021 年 4 月 27 日より）出席者：32 名、欠席者：8 名

IV. 審議事項

#### 【第 1 審議事項】

- 2020 年度第 4 回理事会議事録の確認（総務委員会）：2020 年度第 4 回議事録が報告され、承認された。
- 会員の入退会について（総務委員会）：入退会の状況について報告がなされ、原案の通り承認された。これにより、2021 年 4 月 20 日現在、正会員 475 名、学生会員 157 名、特別会員 2 名となった。
- 第 66 回全国研究発表大会の準備状況について（大会委員会）：第 66 回全国研究発表大会の開催概要・スケジュール・オンライン会場・実行委員会の構成について、配付資料 I-3 に基づく実施案が提案され、原案通りに承認された。
- 学会賞・論文奨励賞の選考について（表彰委員会）：2020 年度論文奨励賞の候補論文と受賞候補者として、「連続尺度法の回帰パラメータによる評定傾向の分析」（中新田渉里氏、明治大学）、*Journal of Japan Association for Management Systems Vol.37 No.2, Nov.2020, pp.97-102 (2020)* が提案され、原案通りに承認された。
- 第 42 回通常総会議案書について（総務委員会）：第 42 回 2021 年度通常総会（2021 年 5 月 22 日開催予定）の議案書が提案され、原案通りに承認された。
- 総会および評議員会の開催について（総務委員会）：2021 年 5 月 22 日開催予定の第 42 回 2021 年度通常総会開催案内の告知案が提案され、原案通りに承認された。
- 総会での役割分担について（会長）：司会・議長候補・各号議案書の報告者・書記・議事録署名人の役

割分担案が提案され、原案通りに承認された。

#### 【第2審議（追加審議）事項】

2020年度会計監査報告の完了とともに、2021年4月27日（火）に2020年度第5回理事会の追加審議事項として、「1. 2020年度収支決算報告」と「2. 2021年度収支予算（案）」が追加され、以下の審議結果となった。

1. 2020年度収支決算報告：原案通りに承認された。
2. 2021年度収支予算（案）：原案通りに承認された。

#### V. 報告事項

1. 第21期理事・評議員等の選任状況について（次期会長）：「第21期 日本経営システム学会役員」の選出状況と名誉会員の推薦について報告がなされた。また、各種委員会委員と評議員は、選任中との報告がなされた。

---

## 2021年度第1回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：2021年5月22日（土） 11:55～12:55
- II. 開催場所：オンライン（Zoom）形式開催
- III. 出席者：椎原正次、上原 衛、金子勝一、毛利進太郎、石田修一、今井正文、上西啓介、川中孝章、佐々木桐子、鄭 年皓、田畑智章、長野寛之、林 誠、佟 紫乃、三森八重子、村山賢哉、柳田義継、稲永健太郎、大野高裕、奥井秀樹、近藤高司、今野 勤、佐藤 修、島田裕次、谷崎隆士、東海詩帆、中井秀樹、永松陽明、成川忠之、西口宏美、深澤琢也、堀江育也、松岡公二、水上祐治、水野浩孝、村山誠、藪内賢之、山下洋史 監事）塩出省吾、松丸正延 記録者：中井秀樹 40名（敬称略）
- IV. 審議事項
  1. 学会役員・評議員・各種委員会委員について（椎原）：理事・監事を指名し常任理事の承認を得ることが報告された。評議員・各種委員会委員長および委員等について説明があり承認された。理事会のメーリングリストについて、変更が必要な場合は柳田総務委員長に連絡することになった。外部委員については、日本経済学会連合の評議員を依頼する川中理事の職階を修正後に承認された。
  2. 名誉会員の推薦について（椎原）：名誉会員の推薦について提案があり承認された。
  3. 就任承諾書と委嘱状の発行について（椎原）：慣例で実施していた就任承諾書については、手続き上問題がないことから廃止することが提案され承認された。委嘱状については、従来通り事務局から発送することが説明された。なお、会長、副会長については、常任理事としての委嘱状を原則発行しないことにした。
  4. 理事会等の開催方法について（椎原）：会長は社会情勢を鑑み、総務委員長と協議の上、総会・理事会・評議員委員会などをWeb会議等により開催することができることが承認された。
  5. 2020年度第5回議事録の確認（柳田）：説明がなされ承認された。
  6. 会員の入退会について（柳田）：説明がなされ承認された。
  7. 第66回全国研究発表大会の準備状況について（村山）：大会実行委員長より、準備状況、大会スケジュールや発表件数40件などが説明され承認された。
  8. 第67回全国研究発表大会について（佐々木、永松）：次回大会およびその後の計画について説明された。第67回大会の開催については、社会情勢等を考慮して、会長、前会長、主催校、大会委員長、副委員長に一任することが了承された。
  9. 第42回通常総会議案書について（柳田）：総会議案書と訂正箇所の説明が行われ了承された。総会での議案書の訂正方法などが確認された。
  10. 横幹連合コトづくり至宝発掘事業について（川中）：横幹連合および当該事業の概要説明が行われ、当学会から「JIT生産システム」を推薦することが説明された。関係者の事前承認が行われているかについて質疑があり、承認済みであることが確認された。その後、提案について承認された。
- V. 報告事項
  1. 評議員会について（椎原）：37名の参加があり総会議案書を説明したことが報告された。評議員から投稿論文について提案があったことが報告された。
  2. 総会での役割確認について（柳田）：総会運営の役割について確認された。また、会長より総会のタイムスケジュールについても口頭説明が行われた。
  3. その他：今井広報委員長から、メーリングリストの切り替え時期について確認があり、柳田総務委員長の指示により切り替えることになった。

---

## 経営モデル研究部会のお知らせ

---

開催日時：2021年8月28日（土） 15:00-17:00

発表予定者：(1) 「中国越境 EC における日本製品の価格弾力性に関する研究」

ジン コウイ 氏（東海大学）

(2) 「ティックサイズ変更の情報発表が株式売買高に与える影響について」

丸山 博之 氏（早稲田大学） 田畑 智章 氏（東海大学）

開催場所：ZOOMによるオンライン会議形式

<https://us02web.zoom.us/j/85362011761?pwd=RytMM0lIbmRoUno2d3AyM2VzeVFUQT09>

ミーティング ID: 853 6201 1761 / パスコード: 965631

連絡先（幹事）：田畑智章（東海大学） Tel.03-3441-1171 E-mail:tabata@tokai-u.jp

金子勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

---

## ヒューマンリソース（HR）研究部会のお知らせ

---

開催日時：2021年10月9日（土） 15:00-17:00

発表予定者：調整中

開催場所：ZOOMによるオンライン会議形式

連絡先（幹事）：金子勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

---

## 入会者リスト

(2021. 3. 6～2021. 8. 24)

---

### 1. 正会員入会希望者

氏名	所属	氏名	所属
八神 寿徳	三重大学	平井 裕久	神奈川大学
平嶋 洋一	大阪工業大学	江口 翔一	大阪工業大学
富岡 禎司	明治大学大学院	井上 順司	日本環境認証機構
谷川 桂子	(株)日立製作所	金久保 正明	愛知産業大学
伊藤 裕之	ダブル・ディベロップメント	菊野 日出彦	東京農業大学宮古亜熱帯農場
小村 亜唯子	神奈川大学	津田 博史	同志社大学

### 2. 学生会員から正会員へ種別変更

氏名	所属
片桐 邦彦	(地独)京都市立病院機構京都市立病院

### 3. 学生会員入会希望者

氏名	所属	氏名	所属
武野 泰彦	山口大学大学院	黄 鵬皓	立命館大学大学院
柳川 剛三	東北大学大学院	中 駿輔	日本大学
葛木 美紀	東京大学大学院	伊藤 昌太朗	日本大学
高 艶慌	東洋大学	出光 慎太郎	立命館大学大学院
芹澤 覚子	山口大学大学院	小堀 文希	日本大学
山路 暁彦	専修大学大学院	坂田 直樹	日本大学
清水 一晟	東京都市大学大学院	森田 千晶	日本大学
佐藤 夏輝	神奈川大学	中島 大地	立命館大学
譚 西子	神奈川大学	若杉 祥吾	日本大学

# 日本経営システム学会 研究発表申込書

## 2021年度 第67回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ( )	2. ( )
当日の口頭発表者には*を付す	3. ( )	4. ( )
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)		代表者名: ( )

発表要旨 (200字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)					
-----------------	--	--	--	--	--

- 注: 1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。  
 2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)  
 3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



# 日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703  
 TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185  
 E-Mail: keieisys@jams-web.jp